

二〇二〇年度を振り返って

理事長・編集長

宮田 和 実

今年は、暖冬だったせいか、桜の開花や満開になるのが早く、これを書いている四月の初め、ここ栃木県那須塩原市では、例年なら、これから満開を迎えるはずの桜がすっかり散って、葉桜になってしまっているようです。

この一年は、コロナに開けコロナに暮れたような気がします。外出自粛で自宅に籠っていることが多く。体が相当なまっつてしまいました。

コロナ禍は、様々なマイナス要素を我々にもたらしましたが、プラス面が皆無であった訳ではありません。

各種の会議やイベントを、Zoomを使ったオンライン開催することで、人との接触を避け、新型コロナウイルスの感染を防ぐことは勿論ですが、今まで三田の会館に集まって行っていた理事会

や例会を、オンライン開催することで、自宅に居ながらにして、会議やイベントに参加することができず、小生などは、那須塩原・東京間の交通費がからず、大きな出費が抑えられます。

理事会の場合は、片道分の交通費が支給されますが、会としても、その分の支出が節約できました。これは、財政的に大きな救いとなりました。

また、昨年の秋に実施したオンラインバスツアーは、現地に行かなくても、現地のお土産が手に入ったり、実際に現地に行ったような雰囲気味わったりすることができました。新しい旅の形ではないでしょうか？

更に、以前から要望のあった手話サークルをオンラインで実施し、事情があつて会場に足を運ぶことのできない方々に好評で、みみより会の新会員として加入して頂いた方も多く、会員獲得に大いに

貢献しました。

オンライン手話サークルをきっかけに入会して頂いた方にも、これから先、仲間として、みみより会を大いに楽しんで頂きたいと思います。

さて、東京は今、第四波が押し寄せています。非常事態宣言は解除されたものの、新型コロナウイルスは衰えることを知らず、様々に変異を遂げ乍ら、勢いを増すばかりです。そして、遂に、四月十日から、宮城、大阪、兵庫に続いて、東京、京都、沖縄にも、地域を限定して、まん延防止等重点措置が適用されること発表されました。名前は違いますが、非常事態宣言と似たようなものです。このような状況下でも、法律に定められた年一回の総会は開かなければなりません。今年も、昨年同様、書面表決方式で開催したいと思います。

また、今年は二年に一度の役員選挙がある年なのですが、総会資料に書きましたように、選挙管理委員会を立ち上げて、立候補を募り、推薦を含めて、候補者に

よる選挙を行うには、リスクが多いと判断しまして、現役員の皆様に、この二年間は、充分に、皆さんの力を発揮することができなかつたので、このまま全員で留任して、コロナ禍が過ぎ去ったら、改めて、役員として活躍して欲しい旨、お願いしましたところ、全員、快諾してくれましたので、選挙ではなく、留任の承認という形の議案と致しました。

その他、コロナのせいで、皆様にお会いして、御意見などを拝聴する機会が全くありませんので、今年は、返信用の郵便を、葉書ではなく封書に致しました。

御意見、御希望、近況など、何でも結構です、A4の用紙二枚までなら、追加料金はかかりませんので、別紙として、お書き頂き、同封してください。幸い、みみより誌は、例年同様、年六回、発行できております。皆様の声を是非、誌面に反映したいと思えます。

お待ちしております。

また、今年の総会では、皆様に新しい試みとして、メーリングリストの開設に

ついて提案させて頂きました。

今や、メールは、我々聴覚障害者にとつては、欠くことのできない通信手段となつていると思えます。

一対一のメールは、皆様、日夜御活用になつていらっしゃると思いますが、多くの方に伝えたい場合は、宛先に、いちいち相手のアドレスを入れていかなければなりません。そこで、開発されたのが、一つのアドレスにメールを送ると、登録しているグループのメンバー全員に同じメールが届く、メーリングリストです。みみより会の会員全員に、同時にメールが届くようになれば、緊急時や例会などの連絡は勿論、近況報告などに利用でき、自分だけ知らなかったということが起こりにくくなります。

詳しいことは、導入前に御説明したいと思えますが、取り敢えず、導入して良いという御承認を頂きたいと思えます。多くの団体が利用していますので、身

近な方で、利用なさっている方に、使い勝手についてお聞き頂くのも、一つの方

法かと思えます。

最後になりましたが、コロナの影響を比較的受けていない『みみより誌』では、新しい方々が、積極的に原稿を投稿してくださっていますので、内容の濃いものになつていきます。五月号では、長年に亘つて、みみより会の役員を務めてくださっている大山明美さんの長女・遥さんが、その活動について、寄稿してくださいました。その活動ぶりは、先日、新聞にも取り上げられましたので、御存知の方も多いと思えます。

一方で、旧会員の訃報に触れて、ベテラン会員の寄稿もあり、懐かしく、御購読頂ける方も多いのではないのでしょうか。長い歴史と伝統を持つみみより会ならではの思つております。

「いつかは決してやってこない」って誰かが言っていました。皆様も、是非、この機会に御投稿ください。お待ちしております。

×

×

みやた かつみ(栃木県那須塩原市)